

経営学部カリキュラムポリシー＜2026年度以降入学者＞

	大学共通	経営学部 総合経営学科
CP	成蹊大学は、「学位授与の方針」を踏まえ、次のような方針で教育課程を編成・実施します。	経営学部総合経営学科は、「学位授与の方針」を踏まえ、次のような方針で教育課程を編成・実施します。
CP1	(CP1) (各学科、各専攻の)専門分野を系統的・体系的に学修できるように、各科目を適切に配置する。	(CP1) 総合経営学科の専門分野を系統的・体系的に学修できるように、各科目を適切に配置する。 (CP1-1) 経営学を理解する基礎的能力を養えるように、経営学及びその関連科目の基礎を1年次に配置する。 (CP1-2) 経営学の専門領域ごとに基礎科目と応用発展科目を設けて、各専門領域を体系的及び段階的に学修できるように配置する。 (CP1-3) 企業経営の問題をより広い視点から認識できるように、経営学と関連する学際領域として、情報、国際、キャリアの領域の科目を配置する。 (CP1-4) 学際科目に対する強い関心を持つ学生を対象に高度学際科目群を設ける。
CP2	(CP2) 広い教養と汎用性の高い技能を修得するための科目群「成蹊教養カリキュラム」を設ける。	(CP2) 広い教養と汎用性の高い技能を修得するための科目群「成蹊教養カリキュラム」を設ける。
CP3	(CP3) 視野を広げ、多面的な思考を促進するとともに、異分野の学生との交流、多様な人々との協働を図るために、学部学科の枠を超えて幅広く学ぶことのできる仕組みを設ける。	(CP3) 視野を広げ、多面的な思考を促進するとともに、異分野の学生との交流、多様な人々との協働を図るために、学部学科の枠を超えて幅広く学ぶことのできる仕組みを設ける。
CP4	(CP4) 思考力、表現力、課題解決力を集中的に錬成するために、(各学科の教育課程の適切な年次に)少人数の演習科目を置き、さらに卒業論文(またはこれに代わるもの)の作成を必修とする。	(CP4) 思考力、表現力、課題解決力を集中的に錬成するために、総合経営学科の教育課程の全学年に、アクティブ・ラーニングの演習科目を置き、さらに卒業論文(またはこれに代わるもの)の作成を必修とする。 (CP4-1) 1年次から4年次までゼミナールを配置し、このうち1年次前期の「基礎演習」及び3、4年次の「経営専門演習Ⅰ」「経営専門演習Ⅱ」「経営卒業研究」を必修とする。 (CP4-2) 「経営卒業研究」においては卒業論文またはこれに代わる成果物の提出を必須とする。 (CP4-3) 経営理論を使った問題解決能力を高めるために2年次に「戦略的問題解決型プロジェクト演習」を設ける。
CP5	(CP5) 自発性、積極性の達成のため、留学等の単位認定の仕組み、及び上級者向けの選抜型の科目を設ける。	(CP5) 自発性、積極性の向上のため、留学等の単位認定の仕組み、及び上級者向けの選抜型の科目を設ける。